

Takatori

IR REPORT

NEXT
GENERATION
50th 70th

第62期 株主通信

平成29年10月1日～平成30年9月30日



証券コード：6338

株式会社タカトリ
The Power of "T"
Technology Trust Teamwork

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、「創造と開拓」の社是のもと、現在事業の付加価値を高めるとともに、戦略的コア技術である「7つのコア技術」（①貼付、②剥離、③制御・情報処理、④クリーン、⑤カッティング、⑥搬送・駆動、⑦真空）の各技術をベースに、「製品の独自性」や「製品の強さを極める」ことに注力しております。

そして基本方針といたしまして、顧客の立場に立って、新規事業開拓・オリジナル製品の開発を行い、営業を支えるサービス体制の構築と事業化を行うことで、組立・調整・サービスに力点を置いたものづくりの企業基盤を築き、「信頼されるタカトリ」を目指しております。

当連結会計年度の実績につきましては、製造コストの低減及び諸経費の圧縮に努めた結果、売上高、各利益ともに前年度を上回ることができました。

従いまして、当連結会計年度の株主配当金につきましては、1株当たり12円の期末配当を実施させていただきました。

翌連結会計年度におきましては、当社グループが関わる電子部品業界では、スマートフォンやタブレット端末製品の更なる高機能化・高精細化による製品需要の拡大が中国・台湾を中心として予想され、また、繊維機器市場や医療機器市場におきましても、自動化・省力化へのニーズ



代表取締役社長
増田 誠

拡大により新たな製造方法への転換が見込まれ、特に医療工学機器メーカーとのODMの拡大により需要は堅調に推移するものと予想されます。

このような状況のもと、平成30年10月1日より組織変更を行い、医療機器分野・知財管理・新製品開発並びに顧客サポート体制を充実させていくとともに、役員・社員が一体となって更にタカトリの技術強化を進めながら、当社グループの発展に寄与していく所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年12月

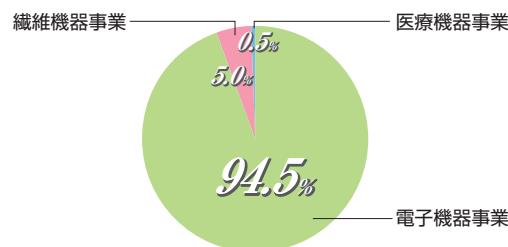
当連結会計年度における世界経済は、米国では民間部門主導の自律的な景気回復の動きに加え、政府支出の増加が景気の押し上げに作用し、緩やかな成長が続いております。欧州においては、設備稼働率は高水準での推移が持続し、堅調な内需を背景に底堅い経済成長が続いております。中国においては、政府のデレバレッジ政策と貿易摩擦を背景に、景気が減速傾向にあります。

一方、国内経済は、台風や北海道地震の影響で一時的な成長率の低下が見られるものの、国内需要に牽引される形で景気回復が続く見通しであります。

このような経済環境の中、当社グループが関わる電子部品業界においては、世界的なスマートフォン需要の一服などから増勢が鈍化しているものの、資本財は世界的な設備投資需要の回復を背景に、引き続き堅調に推移しております。

このような状況の中、電子機器事業につきましては一部で低調さが見られるものの、全体的に好調に推移いたしました。また、繊維機器事業につきましては低調に推移いたしました。

■ 売上高構成比



電子機器事業

ディスプレイ製造機器

ディスプレイ製造機器では、スマートフォン及びタブレット等の高機能端末市場が堅調であったものの、国内外の大手液晶パネルメーカー及びEMSメーカー(受託生産企業)が設備飽和状態となり投資を先送りにしたこと、有機ELパネルの市場への投入が遅れたために装置への投資が先送りになったことにより、小型液晶パネル用偏光板貼り付け機並びにその周辺機器の需要が低調に推移いたしました。このような状況の中、販売額は減少いたしました。



半導体製造機器

半導体製造機器では、前年度に比べ、メモリー・ディスクリット・パワーデバイス・LED・電子部品を含むすべての分野で設備投資が活況に推移いたしました。特に電子部品関係及び特定LEDユーザーからの受注を得ることができました。このような状況の中、販売額は大幅に増加いたしました。



新素材加工機器

新素材加工機器では、LED及びパワーデバイス関連向け市場がメーカーの投資タイミングのズレ込み等により伸び悩みました。その他の材料向け装置については順調に推移いたしました。しかしながら、今後もパワー半導体市場への出荷が継続する予定であり、受注・販売にも期待が寄せられます。



繊維機器事業

国内アパレル業界においては、設備の更新、増設が先送りされる状況が続いております。その中で、ものづくり補助金の採択量の減少も影響しましたが、第61期の開発商品である、昇昇プリントカメラ画像取込自動裁断システムが貢献し、アパレル向けの裁断機や自動縫製機の販売については、前年度と同等の売上を確保することができました。また下着メーカー向けの自動縫製機についても、新たな販売実績ができました。

一方、炭素繊維業界向けの裁断機に関しては、航空機製造の延期や、自動車業界での製造コスト面からの影響で、量産計画の延期が相次ぎ、価格競争も激しくなった結果、販売額は著しく減少いたしました。



医療機器事業

医療機器事業においては、平成30年3月20日に厚生労働省より製造販売承認を取得した「胸腹水濾過濃縮装置M-CART」につきましては、販売先を限定し、市販後臨床調査を開始いたしました。また、国内の医療機器メーカーに向けては、製造工程の自動化・省力化に資する医療機器製造装置の販売、医療機器の試作機開発を受託販売いたしました。



連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期 (平成30年9月30日現在)	前期 (平成29年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	6,017,708	5,518,764
固定資産	2,667,537	2,673,997
有形固定資産	2,249,862	2,274,152
無形固定資産	52,672	22,751
投資その他の資産	365,002	377,093
資産合計	8,685,245	8,192,762

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当期 (平成29年10月1日から 平成30年9月30日まで)	前期 (平成28年10月1日から 平成29年9月30日まで)
売上高	7,263,062	7,153,537
売上原価	5,631,141	5,513,344
売上総利益	1,631,921	1,640,192
販売費及び一般管理費	1,216,625	1,409,311
営業利益	415,295	230,880
営業外収益	65,002	118,715
営業外費用	10,284	12,070
経常利益	470,014	337,526
特別利益	—	799
特別損失	0	178
税金等調整前当期純利益	470,014	338,147
法人税、住民税及び事業税	57,875	36,966
法人税等調整額	18,786	△15,595
親会社株主に帰属する当期純利益	393,352	316,776

(単位：千円)

科目	当期 (平成30年9月30日現在)	前期 (平成29年9月30日現在)
負債の部		
流動負債	3,230,854	2,973,338
固定負債	127,628	221,771
負債合計	3,358,483	3,195,109
純資産の部		
株主資本	5,297,147	4,958,399
資本金	963,230	963,230
資本剰余金	1,352,321	1,352,321
利益剰余金	2,998,938	2,660,189
自己株式	△17,342	△17,342
その他の包括利益累計額	29,615	39,253
純資産合計	5,326,762	4,997,652
負債純資産合計	8,685,245	8,192,762

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当期 (平成29年10月1日から 平成30年9月30日まで)	前期 (平成28年10月1日から 平成29年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△328,563	384,778
投資活動によるキャッシュ・フロー	△141,963	△48,617
財務活動によるキャッシュ・フロー	△216,891	△259,370
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,565	6,922
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△691,983	83,713
現金及び現金同等物の期首残高	2,410,662	2,326,949
現金及び現金同等物の期末残高	1,718,679	2,410,662

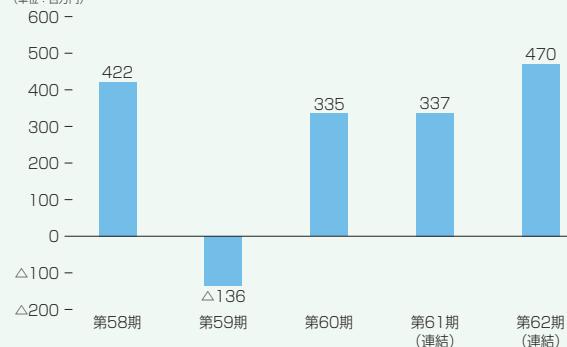
売上高

(単位：百万円)



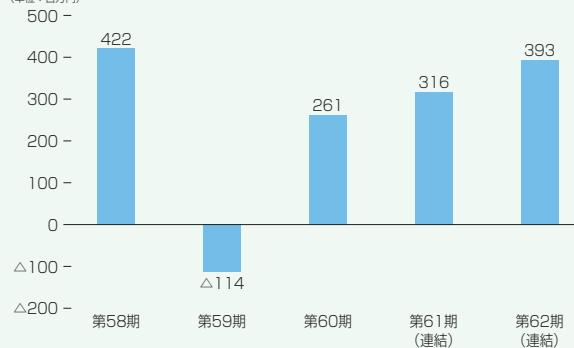
経常利益又は経常損失 (△)

(単位：百万円)



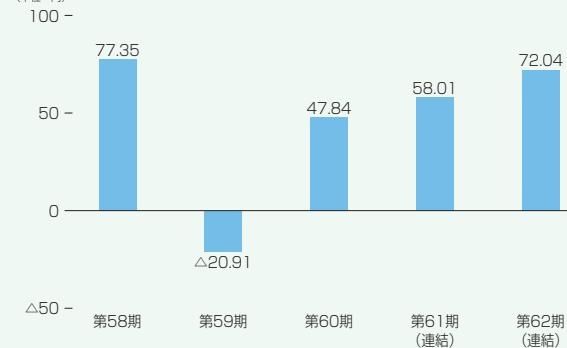
親会社株主に帰属する当期純利益／当期純利益又は当期純損失 (△)

(単位：百万円)



1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)

(単位：円)



総資産／純資産

(単位：百万円)



研究開発費

(単位：百万円)



平成30年3月16日



「第3回王昌モノづくり記念の会」が開催され、故高鳥王昌会長の「モノづくりの精神」を継承すべく、各事業部から新製品・新技術の発表を行いました。

平成30年9月5日～7日



台湾・台北市で開催されましたセミコン台湾2018では、真空での貼付けで各種テープに対応可能なテープ貼り機、最先端アームを使用したソリウエハー対応マウンターをパネル展示し、当社の最新技術を紹介いたしました。

平成30年9月28日



アスティとくしまで開催されました第8回中四国臨床工学会にて、平成30年3月20日付で厚生労働省より製造販売承認を取得した「胸腹水濾過濃縮装置M-CART」を実機展示いたしました。

平成30年10月1日



第63期の創立記念式典を開催いたしました。新事業年度のスタートに、新たな目標を掲げ、それに向かって邁進することを誓いました。



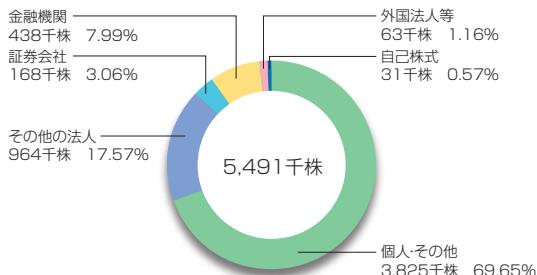
株式の状況 (平成30年9月30日現在)

■ 発行可能株式総数	17,000,000株
■ 発行済株式の総数	5,491,490株
■ 株主数	2,149名
■ 大株主	

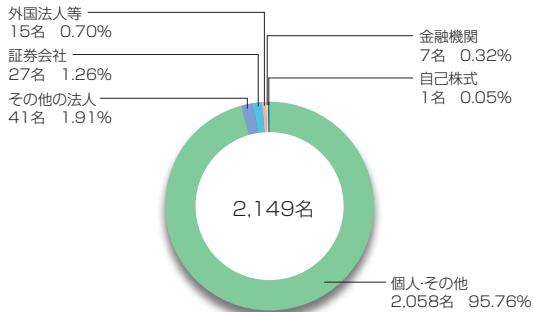
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(有) コ ト ブ キ 産 業	375	6.88
タ カ ト リ 共 栄 会	358	6.57
西 村 幸 子	189	3.47
大 阪 中 小 企 業 投 資 育 成 (株)	187	3.43
仙 波 周 子	179	3.28
岡 島 恵 子	167	3.07
高 鳥 政 廣	167	3.06
時 津 昭 彦	113	2.07
タ カ ト リ 従 業 員 持 株 会	105	1.93
(株) 南 都 銀 行	95	1.74

(注) 持株比率は自己株式(31,092株)を控除して計算しております。

■ 所有者別株式数分布状況



■ 所有者別株主数分布状況



会社概要 (平成30年9月30日現在)

■ 商 号	株式会社タカトリ
■ 本 社	奈良県橿原市新堂町313番地の1 TEL.0744-24-8580 FAX.0744-24-6616
■ 子 会 社	高鳥(常熟)精密機械有限公司 中国/江蘇省常熟市碧溪新区東張万盛路35号1棟
■ 関 連 会 社	株式会社エムテーシー 埼玉県さいたま市大宮区桜木町4-705-1
■ 営 業 所	九州営業所 熊本県合志市幾久富1909-539
■ 設 立	昭和31年10月
■ 資 本 金	963,230千円
■ 代 表 者	代表取締役社長 増田 誠 代表取締役副社長 松田 武晴
■ 従 業 員	210名(グループ従業員数212名)
■ 事 業 内 容	電子部品製造機器の製造及び販売、繊維機械の製造及び販売、医療機器の製造及び販売

役員 (平成30年12月21日現在)

■ 代表取締役社長	増 田 誠
■ 代表取締役副社長	松 田 武 晴
■ 常 務 取 締 役	岡 島 史 幸
■ 取 締 役	出 口 昌 道
■ 取 締 役	森 嶋 一 喜
■ 取 締 役 (社 外)	川 村 真
■ 常 勤 監 査 役	大 島 章 良
■ 監 査 役 (社 外)	山 田 磯 子
■ 監 査 役 (社 外)	大 西 大 介

株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月
基準日	定時株主総会 9月30日 剰余金の配当 期末9月30日 中間3月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告とする。 当社ホームページ (http://www.takatori-g.co.jp) ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記連絡先にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

<http://www.takatori-g.co.jp>



Facebookのご案内



株式会社タカトリ
The Power of "T"
Technology Trust Teamwork

奈良県橿原市新堂町313番地の1